

東京都 創業助成事業

計画書の作成例①

(2) 事業内容とその背景

本助成事業は助成金採択の見込みで策定された事業内容に対してではなく、採択がされない場合でも実施可能な事業内容に対し、助成金活用による事業内容の充実を期待して助成するものです。このため、採択を見越した事業内容ではなく、助成金を資金としている場合でも実施可能な事業内容を必ず策定の上、記入願います。

記入の際は必要に応じて図表等を用いていただき、枠に収まらない場合は広げてください。

- ① 助成対象期間中に提供する製品・商品・サービス内容の詳細について、
詳細な内容(種類・価格・規模・数量・場所・開始時期・時間帯)に関して具体的に記入願います。

■サービスの概要 ※ 計画書サンプル用の架空のサービスです

1. 新規に開発するサービスの概要

- 作文・小論文を、何度も添削するサブスクリプションサービス
- オンライン・オフラインを最適に組み合わせた個別指導サービス

2. 小論文・作文を、何度も添削するサブスクリプションサービスについて

従来、小論文・作文の添削は、学校・塾の先生が、空き時間に添削するか、あるいは、通信添削のようなサービスが中心だった。

しかし、学校・塾の先生は忙しく、多くの生徒に対して、何度も添削している余裕が無いのが現実である。また、通信添削では、1回の添削結果が返ってくるまで、1~2週間かかり、その頃には、何を書いたか忘れてしまっているのが現実である。

そういった課題を解決するのが、弊社の「添削サブスクリプション」である。

弊社の「添削サブスクリプション」では、受験生は、答案を書いたら、写真を撮って、LINEなどでこちらに答案を送る。こちらは、オフィスにいる時はもちろん、外出中でも、いつでも答案を見ることができる。**最短10分**で、添削内容を返信することができる。

しかも、サブスクリプションなので、何度も追加料金で添削する。そのため、受験生は、良い答案を作り上げるために、何度も気軽にトライすることができる。

つまり、本質的に「理想」と認識されつつも、ほとんど実現されてこなかった、小論文・作文の**即添削・無制限添削**を実現するサービスなのである。

計画書作成例のポイント

東京都補助金は、エクセルで、上手に作る必要があります。

「PDF化する際、シートの漏れや範囲の見切れにご注意ください」

上記のルールの下、いくらでも見やすいように工夫ができます。

この**工夫・丁寧な検討**こそが、書面審査通過につながる、重要なポイントです。

私たちは、**丁寧な項目立て**で、文章の読みやすさはもちろん、見やすいフォントにまでこだわって、見やすい・分かりやすい資料作成を心がけています。

【注意事項】

全シートをまとめてPDF化してください。

PDF化する際、シートの漏れや範囲の見切れに

ご注意ください。

シートが漏れていたり、見切れがある場合、

そのままの状態で審査を行います。

東京都 創業助成事業

計画書の作成例②

■元々の作業枠

○ 対象市場の規模・特徴・成長性

3 ページ

■採択水準の記載量

○ 対象市場の規模・特徴・成長性

■中学受験市場

1. 市場は高止まり傾向

- ・2023年 5万2600人 (受験率18.10%)
- ・2024年 5万2400人 (受験率18.12%)
- ・2025年 5万2300人 (受験率17.86%)

少子化の進行により、例えば18歳の人口は、2005年の約137万人から現在は約110万人まで減少。しかし、「中学受験者数」は、上記のように安定して推移している。特に、2024年度は、「中学受験者数」はわずかに減少したもの、「受験率」は過去最高を記録した。中学受験市場は、まだまだ高止まっている状況にある。

2. 中学受験市場の主なプレイヤーは保護者

- 何時から塾に通わせればいい?
- どんな塾に入れればいい?
- 私立?国公立?どんな中学を目指す?

中学受験は「親の受験」とも言われるほど、「保護者」の意思決定が重要である。多くの保護者、特に母親は、上記のような迷い・不安に日々悩んでいる。特に、自分が中学受験をしていない、初めて中学受験に臨むご家庭では、情報の多さに戸惑い、正しい選択ができるか不安を抱える傾向にある。信頼できる相談先や、子どもの個性に寄り添ったアドバイスには、高いニーズがある。

■大学受験市場

1. 市場は縮小傾向も、小論文型には成長性あり

2. 大学受験市場では、受験生本人が決める

3 ページ

計画書作成例のポイント

添削をさせて頂くと、多くの方が、枠のサイズに収めて作成しています。

「枠に収まらない場合は広げてください」

このように記載があります。本来、説明しなければならないことは、たくさんあるはずです。

何を説明したい項目なのか、**目的に合わせて、枠を広げて**、記載内容をしっかり充実させましょう。